

# 本を選ぶ

NO.453 2023年(令和5年)2月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<http://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>調べてみたら

●選書の法則:S.R. ランガナタンからの187のメッセージ(22)



●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

## 調べてみたら

材木市場にエンジュが出たと知らせが届いたのは一昨年の初冬だった。頼んであった木工家には通直で<sup>まきめ</sup>柁目がとれる材がほしいと伝えてあり、写真が送られてきた。選ぶほどには出回らないし、丸太の断面がま<sup>ま</sup>ずま<sup>ま</sup>ずであればと即決で注文した。

エンジュは槐と書く。木偏に鬼と書くところから門柱の材として好まれ、また延寿などと当て字して昔から縁起がよいとされる。床柱として珍重してきた歴史もある。だからという訳ではなく、木目や板の色、質感が好みに合い、これで自宅の玄関ドアを新調するつもりだ。

調べれば、街路樹などに使われる<sup>えんじゅ</sup>槐はマメ科落葉高木で、中国から8世紀頃お茶とともに日本にもたらされたのだという。栽培されて街路樹とか公共施設や学校の植木などにも使われる。夏には白花を付け、散ると足許に花卉が降り積もるほど溜まる。古くから花や蕾には止血作用があると知られている。材は製材したては赤みが強いが、タンニンを多く含むのかやがて灰褐色から灰色の落ち着いた風合いとなる。

エンジュは家具や調度品として使われてもきたが、硬くてしなりのある性質を活かして広く用材として農機具の柄や古い大工道具の鉞(ちょうな)

などの柄として重宝がられた。

また、槐の老木に生えるキノコから抽出された生薬フアイア(Huair)が注目されている。日本では未承認だが、中国では抗がん新薬として承認され、免疫亢進による症状にも投与されているらしい。

今一度近くの図書館で図書館検索システムで槐について調べようとしたのだが、このシステムが不可思議で妙なふるまいをするのに気付いた。例えば、検索項目タイトル(書名)に<エンジュ>と入力する。結果は『一生使い続けたい!ミシンの基礎&応用BOOK』『試験に出ないQED異聞』『やっぱり悩ましい国語辞典』『Macがぜんぶわかる本』などと並ぶ。一覧の脇には、検索語:(タイトル=エンジュ)and(所蔵館=全部)件数:2733件と表示されている。検索には、簡易検索と詳細検索があるが、いずれも結果は同じである。少なくともタイトル以外のどの項目がヒットしているのか、例えば目次なのかそれとも内容なのか、出版者の文字列に含まれるのか、不明の場合がかなり多い。

買い付けたエンジュは板に製材して保管庫に置かれ、時間を掛けてゆるり水分を抜くべく乾燥を待たねばならない。数年掛かる話だ。

買い付けたエンジュについて、物知りの雑木専門の銘木屋さんに聞いてみた。するとわかりやすい見分け方を教えてくれた。結果、それはイヌエンジュだという。えっ、イヌが付いているというのはエンジュではなく、いわゆるもどき? 山で伐採されるのはすべてイヌエンジュで、それがエンジュとして市場に出るからね、と。(埜村 太郎)

## 選書の法則：

# S. R. ランガナタンからの187のメッセージ (22)

吉植 庄栄

### 22. 第四法則と選書・下

『図書館選書論第2版』の内容を、ランガナタンがよく使った架空の対談方式で紹介している。今回は第四法則の3回目。時間を節約する割には約1年かけて今回でやっと最終回。

#### 【登場人物】

○ランガナタン：図書館界のビッグスター、S. R. ランガナタン (1892-1972) 先生。今年度は生誕130周年・没後50周年。日本図書館文化史研究会 (12/3)、日本図書館研究会 (3/5)、日本図書館協会政策セミナー (3/12) で取り上げて頂き感無量です (筆者が)。あざざます。

○第四法則くん：ランガナタンの著作『図書館学の五法則』に出てくる「読者の時間を節約せよ (Save the time of the reader)」という4番目の法則。短気でせっかちで一本気の江戸っ子。今回でおさらばだぜ！

#### ○いよいよ最終回だぜ

ランガナタン (以下「ラ」)：さあて気の短い第四法則くんもあつという間という訳にはいかず、気づくと冬だね。

第四法則くん (以下「四」)：はい、1年長いようで短いようで、短いようで長いようで。楽しかったようで忙しかったようで、忙しかったけど楽しかったようで。

ラ：つまり楽しかったんだね。

四：師匠、そういうことでさ。楽しいことってあつという間つすよね。ということで今回も行ってみましょう！

ラ：うむ。今回は前回の続きから行ってみるかの。

四：資料を探すツールをどんどん図書館で導入して行こう、という話すね。

ラ：そうだ。その結果、利用者が自分の探している文献や情報を、時間をかけずに探すことが可能になる、という話だった。

四：前は師匠がいきなし蔵書検索システムの話をしだすから、選書と何が関係あんだよって、せっかちなおいらは慌てちゃったつすよ！

ラ：まあな、私がこの『図書館選書論』第2版を書いた頃 (注1966年)、時間を節約するツールは冊子体の参考図書だったのだよ。それが今は大半がインターネット検索可能となっている。

四：いって一ぜんて一便利になりやしたね。

ラ：その通り。それでな、今回はまずどのくらい

時間が節約できたかを、ある分野の論文を探すことを例に試算してみよう。

#### ○どのくらい節約できたの？

ラ：まあ当時の話ではあるが、全世界で学術雑誌が約5万タイトル刊行されていたと仮定する。毎週発表される論文も約5万点としよう。1ページ当り大体10ページだから、試算すると50万ページに目を通さねばならない。

四：べらぼ一つすね！

ラ：全部読むのはまず不可能だし、毎週刊行される学術雑誌全部が1つの図書館に所蔵されていることは無いので、あくまで仮定の話であるよ。しかし、分野ごとに最新論文を紹介する速報誌 (これを主題別の文献速報という。) を活用すると、時間は大きく省くことができる。

四：なんか荒唐無稽な話ですね、師匠！

ラ：まあ最後まで聞いてくれ。で、その1人の利用者が自分の研究領域だけのその速報誌を見る。これが毎週大体2ページとする。

四：ふむふむ。

ラ：その2ページは1ページ当り大体25本の論文がリストで紹介されているから、まあ50本分となる。となると本来50万ページを見なくてはならなかったところ、2ページで済むということであるから、その利用者の時間は2万5千分の1の節約となった訳だ。

四：へー、すげー違いではないですか？しかしそんなに思った通りうまく行きやすか？

ラ：だからあくまでも仮定の試算。更に言うと、現代に置き換えるとこの利用者は、前回も紹介したCiNii Researchといった論文検索システムと多くなったインターネット公開論文の合わせ技で、とんでも無い時間が節約されている訳だ。

四：まったくすげーや。んでもって、師匠得意の数学で現代はどの程度時間が節約されたか試算しねえんですかい？

ラ：うん・・・もごもご・・・まあ次に行こう。  
時間がもって一ねーや。

四：あれ！？キャラが変わってねーすか？

### ○研究の時間を節約する資料

ラ：論文1つ1つを探しやすくする資料や現在のウェブサービスは、本当に便利だ。しかし、あくまでも1つ1つの研究にアクセスするということができるだけで、その分野の概観的な動きは自分で考えるしかない。

四：たしかに、あっしは短気だから、細かいことはいいから結局どーなんでい？ってすぐに詰め寄っちゃいます。

ラ：そんなせっかちな君に良い資料があるぞ！それが「トレンドレポート」という資料だ。業界や主題別に「白書」とか「年鑑」など、様々な似た資料があるな。

四：つまり、大局的にどうなってるか？ってえ資料すね。そいつは良いや！

ラ：その通りだ。概要が分かることで、例えば見落としていたことを再発見できたり、無駄な重複を発見できたりもする。

四：そうそう、俯瞰すると見つかる重複を省こうって一のがね、最近筆者さん、毎回それ言ってますぜ。

ラ：え！？どんなこと言っているの？

四：日本の学校って最近慌ててGIGAスクール構想ってのが入ってきて、生徒が1人1台タブレットを使って学び初めてるんだそうです。

ラ：生徒が分からないことはすぐに自分で調べられて、第四法則くんとしては万々歳ではないか。

四：へい。一方、公共図書館では電子書籍を導入しはじめてやす。感染症の前から力を入れていた自治体もありやすが、慌ててサービス開始した所も多いんです。

ラ：それも第四法則くんとしては、大歓迎だろ。

四：へい。なんです、筆者さんは都道府県の教育委員会が音頭取って児童生徒が使えるような電子書籍を契約して、それを各学校で無料で読めるようにしてやれば良いのに・・・ってぼやいているんすよ（例：県立長野図書館）。

ラ：なるほど、その通りだな。まあ電子書籍はどこにサーバがあるのが、誰が契約しようが、アクセスできれば良いので本来はそうあるべきだ。

四：図書館界も学校現場も独自に発展して縦割りだから仕事が重複していて、このような大局的な協力ができていないって。

ラ：まあ色々な業界でよく聞く話だな。新技術や時代の変化で、これまで関係なかった部署や業界の連携が急に必要になったりする。図書館は本来教育機関であり、大きな意味での教育の一翼を担う存在だ。教育現場の変化に一層敏感になり、図書館としてできることを考えて行動して欲しい。

四：それが偉い人には分らないのですよ。

ラ：(なんかそれ、前聞いたな。) さて、話を戻して、「トレンドレポート」には、その分野でまさに今活躍している人がすぐにわかるという効能もあるのだ。

四：成果をあげてる兄貴や姐御たちは何回も名前が載るんすよね。そいつを押さえれば、業界の方向もより予測がつくって寸法っす。

ラ：そうそう。あと、研究の上で大事な資料である「レビュー」「レター」「速報」も時間を節約できるぞ。これらで研究の最新動向を把握することができるので、無駄な研究を節約できる。

四：研究者は最新動向が大事だからっすね。特に大学や専門機関の図書館では選書をする時に、電子版の契約も含めて資料の特性も考慮しねーといけませんっすね。

### ○同じ本を図書館でいっぱい買うってどう？

ラ：さて研究の話が続いたが、時間を節約してくれる選書の話の続けよう。

四：へい。お願いします。

ラ：まずは副本だ。現代ではデリケートな話題だが、人気の本は副本をそろえるべきである。人間の興味関心は、あまり長続きはしない。その時に読みたいと思った本を手に入れられないと、関心は消えてしまうことが多い。

四：みんな短気なんでさーね（笑）。

ラ：ははは。そういう訳ではない。人間の思いつ

てすぐに霧散しちゃうのだよ。すぐに忘れちゃう。第四法則くんとしては、その霧散しがちな関心を即座に受け止めて対応したいんだよね？

四：へい、あっしが何せ短気なんでね。何とかしてあげて一な、と。

ラ：そのためにもタイムリーに人気の本には、何冊か同じ本の副本を準備しよう。

四：そうっすね。するって一と1冊借りられても、他の人も手に取れます。

ラ：うむ。しかし、ベストセラー本が100人以上予約しているというケースもあり、難しい問題だ。ではできるだけ多く同じ本を準備するのか？というところという訳ではない。ブームが過ぎると、書庫で同じ本が大量に死蔵されることとなる。

四：へい。筆者さんも過去の人気本の名残を書庫で何回も見たことがあるらしいですぞ。そしてそもそも作家さんに悪り一や。印税が大幅に減ってしまいやすぞ。

ラ：なので、これは難しい問題だな。特に大学図書館では教科書がそれに当たる。

四：教科書ってたけ一すよね。大学生は金がねーんで、できれば図書館で借りたい。その講義が終わったら一生読まないような本は特にっすよね！

ラ：でも、図書館でその講義の受講生分を全部そろえるのもおかしい。

四：たしかに。さっきも言ったけど、教科書の著者や出版社の収入に関わりやすよね。筆者さんの図書館員時代、ある講義の手伝いしてた時に教科書持っていない学生が困ってたから、図書館の副本を貸したら講義中の先生に怒られて学んだんだって。

ラ：まさに図書館側と作家側の温度差を表した事例だな。私としては第二法則くん「すべての人にその人の本を」を図書館が、利用者には無償にて貸すことで実現させたい。しかし、これを楯に図書館が神様になってはいけない。

四：そうっす。本を作る側の敵になるってのは、ごめんですよね。一緒に文化を盛り立てねーと！

#### ○その他の時間を節約する本

四：そのほかに時間を節約する本ってえのは、ど

んなのがあるんですかい？

ラ：あとは箴言集・読本・資料集や様々な版の古典をそろえることだ。それぞれ説明しよう。

四：合点承知の助。

ラ：まずは箴言集だ。箴言集とは名言・名句・格言などを集めた作品である。文学作品を全部読破することはもちろん良いのだが、時に人生やこの世界の核心を突く言葉を集めたものを読んだ方が時間を節約して大きな学びを得ることができる。

四：なるほど、要点だけ知りて一おいらにはぴったりっす。

ラ：特に名言自体を探す利用者も居るのだ。例えば校長先生。来週の朝会で何の話をしようかな？と図書館に来るわけだ。

四：その時にこの箴言集があると、あつと言う間に名言発見！

ラ：そうだ、ただでさえ忙しい校長先生も、これで楽ちんだ。箴言集を図書館で使えなくて、全国の校長先生が無駄にする時間を合算すると、これは国民経済的に大損失なのだよ。

四：なるほど、校長先生って、名言探すのも大事な仕事ですよ！

ラ：うむ。次に読本や資料集だ。箴言集は文学作品から抽出したものであるが、その他の分野の名作の一部を集めたものが読本や資料集という資料である。

四：たしかに。重要な箇所だけ集めているから、ビギナーにも優しいっすよね。

ラ：そうなのだ、いきなり多くの原典に挑むよりも時間が節約できる。

四：へい、そして古典っすよね。

ラ：うむ、古典は1つの作品でも、様々な異版が存在したり異なる注釈・校訂本があったりする。古典を読む人の時間を節約できるよう、同じ作品の様々な版を選書すると良い。

四：なるほど一、丁寧に読む人には助かりまさあね。1種類しか所蔵していないと、比較する手段も無いから結局いろんな図書館に行くことになって時間がかかっちゃう。

ラ：そういうことだ。

四：それにしても色々な資料やシステムがみんなの時間を節約してる寸法なんですね。

### 〇まとめぜ

ラ：3回に渡って利用者の時間を節約するには、どのような選書をするべきかについて述べてきた。

四：すぐ終わるかと思ってたのに、なぜ一もんだぜ。

ラ：そうだな。さて、それでは振り返ろう。

四：へい。まずは『図書館学の五法則』っていう俺らは「図書」と「利用者」の関係を示した法則だったんすね。こいつは驚いたっす。どこの学校でも教えてねーっすよね。

ラ：言わなくても分かってよ・・・、と思っただけ、言っちゃった。

四：師匠、大事なことははっきり教えてくださえ！

ラ：そうだな、すまなかった。それでだな、第四法則くんに従った選書をするためには以下の3つを注意することだ。

- ・新刊書を早く選書してできるだけ早く書棚に並べること
- ・その人の本（資料）をすぐに検索できる本（検索ツール）を選書（整備）すること
- ・利用者が欲しい情報をすぐに提供できるような資料を選書すること

四：三か条っすね！シンプルでたまんねーな。

ラ：人によって時間感覚が違うので、とくに新着図書を待ち焦がれている人の期待に応えたいところだね。1年に1-2くらいしか選書しない図書館は、回数を増やして利用者の期待に柔軟に応じて欲しい。おっ！？うまくまとまったな。

四：へい、決まりやしたね、師匠！んでもって、いよいよ次回からは人気No.1の第五法則の野郎っすね！

ラ：うむ。第四法則くん、ここまでありがとう。ここまで来れたのも、君のおかげだよ。

四：照れるじゃねーか、べらぼうめ。師匠と読者のみんなのおかげで、おれっちも頑張れたんだぜ。

ラ：そうだな。この連載も最初は細々と始まり反響も無く、話が古いんだよ・・・って言われたこともある。しかし世の中が変わっても、変わらないものがあるのだ。感想を言ってくれる読者もごく少数だが出てきた。

四：読者の皆さんはほんとありがてーっすよね。見てくれてる人がいるってえのは、やはり励みになるもんすよね。

ラ：うむ。そうだな。では第四法則くん、ほんとにありがとう。

四：師匠、この場を用意してくれてありがとうごぜいやす。読者の皆さん、また会おうぜ！

（よしうえ しょうえい：盛岡大学文学部）

### DMがたろく

**トランスジェンダー問題**  
議論は正義のために ©2200円  
ショーン・フェイ 著 高井ゆと里 訳 清水晶子 解説

**オックスフォード**  
**哲学者奇行** 児玉聡 著 ©2420円

**ダイエットはやめた**  
私らしさを守るための決意 ©1650円  
バク・イスル 著 梁善実 訳

**14歳からのSDGs**  
あなたが創る未来の地球 ©2200円  
水野谷優 編著 國井修、井本直歩子、  
林佐和美、加藤正寛、高木超 著


**明石書店** 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5  
TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174 (税込)



**BOOKMARK**  
FREE BOOKLET (ブックマーク)

**20**  
2023 SPRING  
巻頭エッセイ  
斉藤 倫

詩の本特集  
**It will resonate**



アミア・スリニヴァサン／山田 文 訳  
**セックスする権利**

インセル、MeToo、セックスワーク。  
気鋭哲学者が放つ21世紀のフェミニズム論！ 特別解説＝清水晶子 2970円



ケヴィン・レイランド／豊川 航 訳  
**人間性の  
進化的起源**

なぜヒトだけが複雑な文化を創造できたのか 進化生物学最大の難問を動物の模倣行動から解き明かす。 4620円



**勁草書房** TEL 03-3814-6861 \*価格税込  
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>

大航海時代は「真珠の時代」でもあった！

山田 篤美 / 著

**真珠と大航海時代**

「海の宝石」の産業とグローバル市場



16世紀のヨーロッパでは真珠ブームが起こっていた。真珠を求めて海外に進出したスペイン・ポルトガル勢力は、南米では奴隷制水産業を發展させ、インドではザビエルらイエズス会が真珠採り潜水夫を囲い込んだ。

—真珠から見えてくる  
驚きのグローバルヒストリー。

定価 3,300円 (本体 3,000円 + 税) 2022年11月刊行  
四六判 上製 口絵4 + 288頁 ISBN:978-4-634-64098-6 C1022



**山川出版社**

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-13-13  
<https://www.yamakawa.co.jp/>

●4月中旬刊  
**公教育で  
社会をつくる**  
ほんとうの対話、ほんとうの自由  
リヒテルズ直子・苦野一徳(著)

公教育の目的は、対話の力をもった市民を育み、民主社会の基礎をつくること。そのためにどんな学校文化が必要か、力強く提言！

**若者たちの  
生きづらさ**  
石垣琢磨(編) 3/15 発売！  
今を生きる若者たちは  
何に悩み、  
彼らをどう支えるか。  
こころの科学増刊  
●予価1650円(税込)  
ISBN 978-4-535-90468-2  
不確実なこの社会でいかに伴走するか

**日本評論社** 〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4  
☎03-3987-8621 <https://www.nippyo.co.jp>

面世だ積  
白間から徹  
い は宗の

**住職さん  
は聞き上手**

仲野 徹  
山口 晃  
坪田 信貴  
高 史明  
小川 洋子  
石川 善樹  
平田 オリザ

羽生 善治  
為末 大  
いとうせいこう  
熊谷 晋一郎  
国谷 裕子  
黒川 伊保子  
山極 壽一  
佐藤 優  
久坂 部 羊  
1870円

どんな相手からもよいお話を引き出せる座談の名人・  
積徹宗先生がホストとなった好評連載、待望の書籍化。

**晶文社** 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11  
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>

ワイノット  
新テキスト・シリーズ y-knot  
**これからの教育社会学**

相澤真一・伊佐実実・内田 良・徳永智子 著

いじめや不登校、貧困家庭や移民の子どもたちの教育など、さまざまな課題を社会学の知識や概念で見直すと、何が見えてくるのか。教職を志す人をはじめ、広く教育問題に関心がある人におすすめの新しい入門テキスト。

「自分の経験」を超えて教育と社会の関係をとらえるために。



y-knot 四六判 定価2,310円(税込) 特設サイト公開中！



**有斐閣** 東京都千代田区神田神保町2-17  
<http://www.yuhikaku.co.jp/>



**ESTRELA** ■2023年2月号  
No.347/2月10日発行  
B5判 64ページ  
定価1,205円(税込)

[特集] がん患者の統計

■ がん統計の現在と未来

片野田 耕太(国立がん研究センター がん対策研究所 予防検診政策研究部長)

■ 希少がんの罹患統計

杉山 裕美((公財)放射線影響研究所 疫学部副部長)

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル 5階  
TEL : 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>